



世界一、安心安全に赤ちゃんが生まれる国、日本
その一方で初産婦の 25% が産後うつに陥るという日本

「誰か手を貸して！」と言えないでスタートする妊娠、出産
「頼っていいんだよ」と言える場所をびーのびーのが作ります

産前産後のファミリーが気軽に体を休めることや、相談できる場所の運営
継続のためにご寄付をお願いいたします

全国政令指定都市の「行政区」（「特別区」である東京23区は除く）の中でも全国1位の出生数のある我が渋谷区。

新型コロナウイルス流行の影響もあり「夫婦のみでの出産、子育て」をする家庭は毎年5%ずつ上昇。
(過去4年間の港区4か月恒健診調査報告から)

地域に知り合いのいない中、実家にも誰にも頼れない子育て家庭は、経済や社会システムをも支えながら、子育てや介護、仕事などいくつもの役割を担っていきます。

「ちょっとだけの手助け」「ちょっとだけの見守り」「ちょっとだけの睡眠」「ちょっとだけのゆっくり入浴」の「ちょっとだけ」を私たちは実現します。

『かけがえのない未来の命のユウ』とのために渾身を擲る援護も頼むよ。

産前産後のファミリーが気軽に体を休めることや、相談できる場所の運営継続のためにご寄付をお願いいたします



助産師と歓談し、ゆったり過ごす産後ママたち



振込でもご寄付いただけます。

郵便局から 郵便振替 加入者名：びーのびーの
口座番号：00260-5-44911

銀行から ゆうちょ銀行 店番029
店名（カナ）〇二九店（ゼロニキユウ店）
当座 0044911 受取人名：トクヒ ビーノビーノ

いただいたご寄付は以下にも活用させていただきます。

●ひとり親家庭に食を届け、困りごとに寄り添う活動

主に『シェアねっと』という活動を行い、支援家庭を増やし、地域で孤立しないためのサポートを実施します。



●びーのびーのまるごと応援

子育て家庭を地域・まちづくりの次世代として支えあえる社会の実現に挑みます。



問い合わせ 認定NPO法人びーのびーの 法人事務局

〒222-0037 横浜市港北区大倉山2-7-47シャトレ大倉山103

TEL 045-540-7422 MAIL admin@bi-no.org

URL <https://bi-no.org/>

びーのびーのは2020年から3年間、助成金を受けて産前産後家庭が地域での確かな子育てをスタートできる場づくりを試行してきました。ここまでは地域に根ざして活動している医療機関や助産師やボランティアと、場所を貸してくださいる地域の支援者のご厚意を受けて活動を続けることができました。

助成期間が終了し、いよいよ来年度から本格始動していくにあたり、その全てを利用者に負担してもらうとなると2万円以上かかることが試算されています。

日本全体が「こどもまんなか社会」政策が推し進められていく中でも、まだまだ現場は追いついていないのが実状。ぜひ利用者負担を少しでも軽減できるように、活動継続のためのご寄付をお願いいたします。



支援者の声

子育てを支えるまちづくりの大切さ
× びーのびーのさんのつながり資本・専門性・熱意！

筑波大学 人文社会系 准教授 松島みどり氏

現代では核家族での子育てが一般的。しかし、子育ては一人では難しく、その負担感や疲労感がお父さんやお母さんを苦しめてしまうことも。共働きで出産前まで地域とのつながりが全くない家族も多いからこそ、あえて子育て家庭を支えるまちづくりをすることが重要です。でも、どうやって？まちづくりってそんな壮大なことを誰がやるの？ --- ついやる前



から諦めてしまいそうになるほどの大きな挑戦に、圧倒的なつながり資本と専門性、そして熱意をもったプロフェッショナルな団体が挑んでいる。そして、着実にひとつひとつ実現させていく。しなやかでそして力強いびーのびーのさんへの尊敬の気持ちを込めて。応援しています！

マラソンなど体を動かすことが大好き

※『認定NPO法人』へのご寄付は「寄付金控除」が適用されます。確定申告をすることで、税金の還付を受けることができます。原則として受領書は1か月程度で発行します。